

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課		■担当係	産業連携係
■評価事業名称	産業連携推進事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 103	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	01 産業間連携の促進		
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	農業を起点とし、生産、流通、加工、販売の過程において付加価値向上を図る取組みを支援する。また、産業連携による新たな経済活動を促進し、地域経済の発展に寄与することを目的とする。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	産業連携推進事務	農業を起点とし、生産、流通、加工、販売の過程において付加価値向上を図る取組みに係る事業者	○6次産業化、農商工連携の推進	○コロナウイルス感染拡大の影響により、各種会議・研修等開催されず。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	389	349	71	27	
人件費	2,518	999	1,220	2,383	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,907	1,348	1,291	2,410	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p>○ A. 順調</p> <p>● B. 概ね順調</p> <p>○ C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>農業の6次化について相談があり、産業支援センターのアドバイザーとともに、経営者の状況に応じ、支援メニューの提示やアドバイスを行った。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>6次化を計画している農家等の情報について農林部と共有を図る必要がある。</p>	
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p>○ 不特定多数に及ぶ</p> <p>● 特定されるが多数に及ぶ</p> <p>○ 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p>○ 類似の事業はない</p> <p>● 類似の事業はあるが競合はない</p> <p>○ 類似の事業があり競合する</p>		
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p>● 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p>○ 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p>○ 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p>● 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p>○ 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p>○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p>○ 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p>● 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p>○ 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>	
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p>○ ニーズが高まっている</p> <p>● ニーズは変わらない</p> <p>○ ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p>○ 順位が高い</p> <p>○ 順位が中程度</p> <p>● 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p>○ 順位が高い</p> <p>○ 順位が中程度</p> <p>● 順位が低い</p>	
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p>○ 先進的またはユニークな事業である</p> <p>● 他と同程度の事業である</p> <p>○ 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p>○ 民間委託等の拡充は難しい</p> <p>● 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p>○ 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p>○ 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p>● 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p>○ 効率化や改善の余地が大きい</p>	
<p>■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)</p> <p>商工部、農林部、産業支援センター、農業支援センターが一体となり6次化支援に取組むシステムの構築が不可欠。</p>			<p>■今後の方向性</p> <p>○ I. 拡充</p> <p>● II. 継続</p> <p>○ III. 縮小</p> <p>○ IV. 廃止・休止</p> <p>○ V. 完了</p>

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課		■担当係	産業連携係
■評価事業名称	新事業創出支援事業補助金			
■事業開始年度	平成28年度			
■評価事業コード	060200 - 124	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	01 産業間連携の促進		
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	北上市新事業創出支援事業補助金要綱			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	産業の枠を取払い、連携による新事業の創出を促進するため、これまで工業分野、農業分野で区分していた同種の補助金を一本化したもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	新事業創出支援事業補助金	事業者	対象案件:3件、3,000,000円	対象案件:3件、2,238,000円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	4,741	5,811	3,022	2,257	
人件費	4,655	2,843	2,897	1,416	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	9,396	8,654	5,919	3,673	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	交付件数	5件	6件	3件	3件	

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

補助事業開始当初は製造業、商業、農業分野の事業だったが、平成30年度は観光業等のソフト事業にも交付し、多様な産業を支援している。また、事業者同士の連携による商品開発や、農産物のブランド化を図る事業、大学と連携して開発された商品等が生まれている。

問題点・課題等

新事業が継続していくことが重要。フォローアップのため、平成30年度からは産業支援センター及び農業支援センターへの相談を必須とした。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

県等に類似の補助金は存在するが、幅広い経費を補助対象としている点で優位性がある。毎年予算額の2倍以上の応募があり、ニーズはあると考えられる。平成31年度はファンドへの出資のため予算額を半額としたが、今後も本事業は継続する予定。

■今後の方向性

- I. 拡充
- IV. 廃止・休止
- II. 継続
- V. 完了
- III. 縮小

1. 基本情報

■事業の担当課	農工部産業雇用支援課		■担当係	産業連携係
■評価事業名称	農楽工楽クラブ事業費補助金			
■事業開始年度	平成30年度			
■評価事業コード	060200 - 126	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	01 産業間連携の促進		
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	西和賀町との定住自立圏連携事業として農楽工楽クラブの活動を位置づけ、活動費を2市町で補助するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	農楽工楽クラブ事業費補助金	農業団体・工芸団体	農楽工楽クラブに対する事業費補助金の交付	農楽工楽クラブ事業費補助金800千円 事業実施団体6件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費		804	803	805	
人件費		538	1,067	1,416	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		1,342	1,870	2,221	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	補助活用団体数		5	6	6	農村と企業の多様な交流・連携に資する活動を行う団体に対し補助を行うもの。

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 コロナ禍の影響もあり、イベントそのものではなく、今後のイベント準備に活用される事例がでてきている。	問題点・課題等 補助金の利活用が農楽工楽クラブ会員に限定されることから、会員の増加を図り、多くの団体が利用できる状況にする必要がある。	
	1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい	
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能		
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む) 産業間を結ぶ活動に幅広く活用できる補助金であることから、周知を図り、会員を増やす必要がある。			■今後の方向性 <input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課		■担当係	産業連携係
■評価事業名称	産業連携推進会議事務			
■事業開始年度	平成26年度			
■評価事業コード	060200 - 235	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	01 産業間連携の促進		
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市地域産業振興基本条例			
■関連計画の名称	北上市産業ビジョン			
■事業の目的と概要	産業間の連携を推進するための組織として「産業連携推進会議」を設置し、同会議を中心に産業間連携の促進を図るもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	産業連携推進会議事務	事業者	・委員委嘱 1回・産業連携推進会議の開催 4回	・産業連携推進会議の開催 0回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	69	68		2	
人件費	1,297	1,460	152	596	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,366	1,528	152	598	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	会議開催数	1回	1回	0回	0回	推進会議の開催数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

産業ビジョン策定事務の遅れにより、会議開催ができなかった。

問題点・課題等

令和3年度のビジョン策定にあたり、各部門別計画にかかる審議会委員等により委員を構成し、会議を開催。意見聴取を行わなければならない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

産業の分野を越えて意見をいただく会議で、総合的な産業発展のため継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- IV. 廃止・休止
- II. 継続
- V. 完了
- III. 縮小

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課		■担当係	産業連携係
■評価事業名称	産業支援センター運営事業			
■事業開始年度	平成29年度			
■評価事業コード	060200 - 242	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	01 産業間連携の促進		
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	産業支援センターの設置により、各産業を包括的に支援するとともに、産業間連携や起業による新事業の創出を支援し、魅力ある地域産業の振興を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	産業支援センター運営事業	企業	・運営委員会の開催 2回	・運営委員会の開催 0回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	95	101	8	7	
人件費	1,679	999	3,125	2,310	
その他(公債費・減価償却費等)		8,600	8,600	8,600	
フルコスト	1,774	9,700	11,733	10,917	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	運営委員会開催数	2	2	0	0	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 <input type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input checked="" type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 会議を開催できず、各委員から産業支援センター運営に関する意見を聞くことができなかった。	問題点・課題等 運営委員会からの意見の他、センター利用者からの要望を把握する手段を検討する必要がある。
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

産業支援センターの事業運営について意見を聴取するため継続しての実施が必要。

■今後の方向性

- | | |
|---|---------------------------------|
| <input type="radio"/> I. 拡充 | <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 |
| <input checked="" type="radio"/> II. 継続 | <input type="radio"/> V. 完了 |
| <input type="radio"/> III. 縮小 | |